東京薬科大学新聞

発行所
東京薬科大学
新聞会
責任者
村野哲雄

新歓
特別号

新聞会について

新入生の皆さん、入学おめでとう。今日は我々新聞会が発行している「東京薬科大学新聞」を紹介しよう。

一、「新聞会」の位置

「新聞会」は東京薬科大学自治会が設置する機関の一つである。しかし下の図を見ていただくと分かるように、他の機関からは独立している。これは「新聞会」が他の機関からの干渉を一切受けずに、極めて中立的な立場で活動できることを意味している。

二、「新聞会」の役割

自治会規約では次のように規定されている。

第八節　新聞会

第五十八条

本会（自治会）は「東京薬科大学新聞」発行の為に新聞会を置く。

第五十九条

新聞会会員は本会会員より公募する。また新聞会員は本会の委員および役員を兼任することはできない。

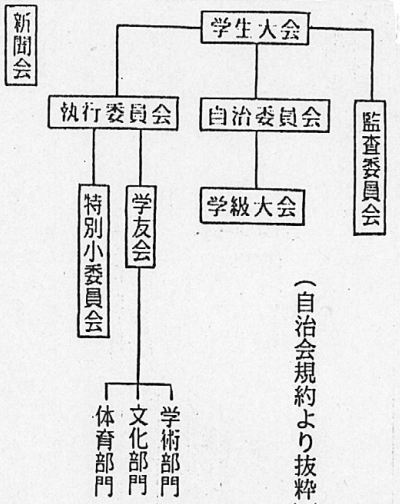
第六十条

新聞会に左記の役員を置く。

（一）新聞会会長　一名
（二）副会長　一名
（三）会計　一名

第六十一条

新聞会の会計は本会より個別に予算分配を行う。



（自治会規約より抜粋）

以上から分かる通り、新聞会は「東京薬科大学新聞」の発行機関である。月に一回、主に学生が関心のある事柄を選んで掲載し、配布する。しかし特別な行事があった場合には、この号のように号外を発行する、こともある。

三、新聞の具体的内容

ここでは昨年の新聞の主な記事を挙げて説明しよう。

五月には薬剤師国家試験の結果が発表され、さらに合格率が下がったことについて取材を行った。

七月には前期学生大会（高校での生徒総会に相当する）が開催され、その議案書の内容をいち早く紹介した。

十月には体育祭と東薬祭の開催に先駆けてそのイベントを紹介した。

十一月には平成五年度カリキュラムについて行われた学内連絡会議を取材して、その全容と考察を記事とした。

十二月は後期学生大会の議案紹介を載せた。

学生大会と連絡会議終了後には、争点を簡潔にまとめ、号外を発行した。

以上昨年の主な例だが、この他にも「論説」、美術館・博物館などの紹介をする「校外」、コラム欄「薬味」などがある。

以上で説明を終わるが、これで皆さんに少しでも新聞会に興味を持っていただけると幸いである。これからも新聞会が一層より良い方向へ発展していくために、皆さんのご協力を切にお願いする次第である。

会長あいさつ

新入生の皆さん、入学おめでとう！

今の皆さんは入学したばかりで、これから始まる四年間に対して期待と不安が入り交じっていると思う。一年前の私もそうだったが実際に大学生活が始まってみると、今までが受験勉強のために不自由であり、そしてあまりにも急に自由になるので、初心を忘れてしまうことが多い。勉強はしないで、遊びやバイトにはついつい夢中…。しかし何のための勉強なのか、何のための大学生活なのかを忘れないでいただきたい。

この四年間のうちに絶対に作っておきたいのが「真友」である。真友とは、困ったときに助けてくれる友人で、そんな友人がいると本当に心強いし、そういった友を持てる喜びはなにものにも代えがたいものである（試験の時にも何かと役立つ。本当に）。真友を得るためにも私は皆さんが何らかの委員会、クラブなど（新聞会はいかが？）に加入して多くの人と知り合っておくことをお勧めする。

ところで早速だが、皆さんにも（うまくいけば）四年後に薬剤師国家試験が待っている。この試験に合格しなければ、薬科大学にきた意味がない。国家試験はまだ四年先のことである、と考えるのではなく四年後の試験のことを念頭において、毎日着実に勉強していくべきではある。しかしあまりこればかりにこだわっていくのも考えもので、やはり学生時代にはさまざまなことに関心を持って、いろいろと試してみるのがいいようだ。

本当はまだ書きたいことがたくさんあるのだが残念なことにスペースが足りなくなってしまった！とにかく、お互いに希望に満ちた大学生活を楽しく充実したものにしていこう。

（会長　村野哲雄）

仕事内容

新聞会の仕事といえば当然新聞を制作することである。その新聞がどのようにつくられるかを紹介しよう。

①編集会議

毎週水曜日に行われる。各々が書きたい題材や掲載すべきだと思う題材を持ちより、どれを採用するか、誰が書くか、また発行日、締切日も決定する。

②割付

紙面全体の記事の配置を決定する。気分はもうジグソーパズル。さあ、あなたもご一緒に。

③取材

「記事は足で書く、ワープロは手で打つ」のである。正確な取材こそが正確な記事を生む。取材を怠るといい記事は書けない。あいまいな取材で、事実に反した記事や誤解されやすい記事を書けば責められるのは会長である。（私じゃないからいいやとか思わないように。）

④執筆

取材を終えたらコンピューターを使って原稿を書きあげる。ここが記者の腕の見せどころである。調子にのってスラスラ書いているときは天国だが、行き詰まったときは地獄である。（しかも天国は滅多にない。）

⑤校正

できあがった原稿は編集長の厳しいチェックを受け、完璧なものに仕上げられる。

⑥製版

校正済みの原稿を切り貼りして新聞の原版をつくる。この時点で行の多すぎや不足があったりしてパニックに陥ることもよくある。しかし最後にはなんとかまとまるものである。数字の不思議である。

⑦印刷

文字通り、印刷機を使って印刷する。千枚単位の表示が出せるのはこの時ぐらいである。

⑧発行

完成した新聞は新聞会員の手によって各クラスに配られる。出席率の高い授業のときに配るのが原則である。

⑨コンパ

ここで今までの疲れも一気に吹っ飛ぶのである。（ただし飲み過ぎるとこの限りではない。でもご安心。そこまですることは滅多にないから。そう、滅多に…）

以上の行程を経て新聞は完成し、諸君のもとへ届けられる。ここまで読んできて新聞づくりは大変だと思った人もいるかもしれない。確かにこの仕事も簡単とはいえない。しかし、それぞれとても素敵な魅力を持った仕事である。読者がひとりでもいる限り、我々は精いっぱい努力して、より良い新聞をつくり続けるつもりである。

薬味

★「春風駘蕩」という言葉がある。辞書で引くと『春風の穏やかに吹くさま』となっている。ゆったりとした、大らかな感じを受ける言葉だ★ところが、実生活を振り返るとそんな言葉には全くと言っていいほど縁がない。現代はまだまだ時間との競争だ。バリバリの仕事マンでなくても、みんな何かに追い立てられるようにして生活している。ゆとりの必要性が叫ばれているが、社会自体が積極的にそれを受け入れる風ではない。どうしてこうなったのか。原因は昔の高度成長期に見いだせそうだ★その当時の日本が、何よりもまず物質的な豊かさを求めていたのは周知の通りである。努力が実り、最高の発展を遂げても、社会はひたすらに働くのをよしとする風潮を捨てられなかった。働けば豊かになるという考え方の側面を見ることが出来なかったのか。そして、バブルははじけた★不況に押されるように、今、そんな生活を変えようとする動きが活発になっている。週休二日制が当たり前になり、時間的な余裕は確かに出たが、何故か社会はまだ慌ただしい。ゆとりを持つことにみんなが慣れないのだ。上からの改革だけでは、これはなかなか変えられまい★ゆとりを持つことの意義を個人が考える時が来たのではないだろうか。行け行けムードに流されがちだったゆとりという言葉の意味も、もう一度考え直したい★春風は気まぐれだ。けれど秋にどんな実りを結ぶかは、すでにこの時から始まっているのだ★春風駘蕩に生きてみよう。それは決して、ただのんびりと過ごすことではないのだから。

（モロゾフのクッキー缶）

新聞会員の横顔

君の入会を待っている！

赤津莱穂子

はじめまして。新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。晴れて大学生になれたわけですね。本当に本当におめでたい事です。って、去年は、私達が腐るほど言われてたんですがねぇ…。いやはや時が経つのは早いです。え、右って何？えぇ、左って何？と言っていた頃の自分が懐かしいなぁ。これを読んで笑っているあなた。大丈夫。あなたも同じ思いをちゃんとしますから。そんなあなたを優しい先輩達が新聞会は待っています。

池川徹

新入生のみなさん御入学おめでとうございます。受験勉強でさぞかしお疲れになったことでしょう。でも、その束縛からも解放されました。これからの大学生活はあなたのものです。遊ぶにしても、勉強するにしても、全ての選択はあなたが判断していくのです。当たり前のことですが、いつも『自由』と『責任』を忘れないで下さい。

浦野慎也

ついこの間のことです。何者かが我家のチャイムを連打するのです。不審に思ってドアを開けるとそこには一人の背の低いおばちゃんがニコニコしながら立っていました。「花いらんかね？」大声で聞きます。「はぁ？」「花。鉢植えになってんの」「いえ、べつに…」「あ、そう。じゃまたね」元気に帰って行く花売りのおばちゃん。世の中には変な人がいるものですね。あれ、ここにも変な人がいっぱい。いったいここはどこ？あぁ、新聞会室か。

奥津あや

新聞なんてつくったことないのに、何か新しいことがやりたくて入った新聞会。早いもので、もう2年が過ぎた。考えてみると、みんなにものすご～く可愛がられ（そうだよねぇ、みんな？）甘えるだけ甘えてきた（甘やかし過ぎに後悔している人もいる……なんてことあるわけない。何せ、みんな心の優しい人達だものね）。とにもかくにも新聞会では只今「新戦力（新鮮力）」を募集中。今すぐあなたも新聞会に入ってね。

高橋明弘

「皆さん、ご入学おめでとうございます」なんてセリフはもう聞き飽きてうんざりという人はいませんか。

そのような方々に新たな感動と大いなる悦びを与えるため、次の言葉を送りたいと思います。

「皆さん、東京薬科大学新聞の初購読おめでとうございます」

…：おお、なんておめでたい。感動の雨、嵐。この胸の高鳴りは一体なに？…：

えっ、なんとも思わないって。しょうがないなぁ。

それでは、次号もお楽しみに！

谷琴美

新聞会の新会員の皆様（笑）初めまして。出席率が一番低い会計担当です（いえ仕事はまだ…）。さて当新聞会は一なんてことは説明があるでしょうから、一つ内情暴露を☆委員会とは言うものの、雰囲気は完全に部活と言うか同好会のノリです。お菓子は食べるわゲームはするわ、果ては原稿と称して公然と居残り怪しげな…（バキッ☆）痛いわっどうして殴るのみんな♡

何はともあれ、皆様のお越しをお待ちしております。

津田佳幸

新入生のみなさん、こんにちは。（こんにちは。）僕は槇原敬之とまるごとバナナが大好きで、バーゲンという言葉に弱い編集長（二年生）です。えっ、新聞会、それっておたくの集まり？…それは来てからのお楽しみに。

ところで新聞会ではコンパをできるだけしようと思っています。新聞ができあがった後のカラオケは最高。僕はマイクをもってるときが一番幸せです。

勉強も心配は入りません。過去問もいろいろ揃えてあります。しかもM先輩が懇切丁寧に、分かりやすく教えてくれるから安心です。

さて、みなさんはもう立派な大学生。大学では自分から始めなければ何も得られないのです。自分の手で何かを成し遂げたい。そういう人達を新聞会は応援します。

土本靖子

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。「ここでまともなことを書くと浮く」と一言釘を刺されましたので頭を抱えてる次第です。何が不思議ってそりゃ大して仕事もしないこの私がこの会に居座ってこんなところで自己紹介をしていることでしょう。それ位、ここは居心地がよいです。今そこでこの文章を読んでいるあなた。とりあえず入ってみることオススメします。騙されたと思うのはその後でいいんですから。

二川祐政

来たぞ来た。出番だ。俺の出番だ。みんなまだ無事のようだな。うむうむ、良かった間に合ったようだな。おい待て、待ってたら。クラオリなんてどうでもいいからとにかく話しを聞くんだ。いいか、新聞屋に気をつけろ。とる気がないなら居留守を使え。カブの音が聞こえたら身を潜めろ。絶対に目を合わすな。新聞屋は情報を握っているからな。なめてかかると泣くぞ。いや絶対泣く。だから新聞会にはいれ。理由は後で言う。

武藤貴広

ご入学おめでとうございます。人生の大きな一歩を踏みだしたみなさんにとって、この大学で様々な貴重な体験をすることでしょう。その第一段として僕が自信をもってお送りするのは、新聞会に入ることです。その理由をいくつか挙げてみましょう。まず、みんなで協力して助けあいながら新聞を作りあげてくなかで、〔思いやり〕を培ってきた素晴らしい人達がいるということです。次に自分の意見や思想を文章にしていく楽しさです。難しそうと思っている人が多いでしょうが慣れてしまえばおちゃのこさいさいです。それも無理な人はいかにすればきれいにみえるかレイアウトを考えるのも楽しいです。そんな新聞会にぜひー度きてください。一年中あなたがくるのをこころからお待ちしています。

村野哲雄

みなさん、こんにちは！

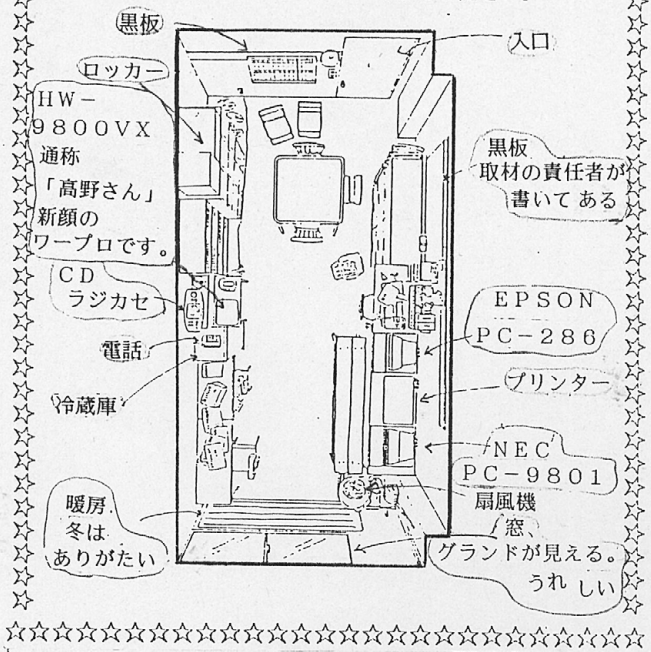
私が新聞会長の村野です。東京都西多摩郡瑞穂町の生まれ、創価高校出身、ただ今十九歳なのです。近所で売ってる草餅が吐き気がするほど大好きで、よく食べます。アリジゴクも好きです（これは食べるのではない！）。そうそう、今日はみなさんのご入学をお祝いして村野風人間ロケット横っとびダンスをご披露したいところですが、紙面の関係上、お見せできなくて非常に残念です。

これで新聞会員のことが少しは分かったと思います。続きは後ほど新聞会室でお会いしましょう。

これが新聞会室だ！

部室棟二階、徒歩十歩の場所にあります。

新入生の皆さん気軽に立ち寄ってください。



行事予定

四月

八日（木）　授業開始

十一日（日）　柚木オリエンテーリング

十四日（木）～二十一日（水）　春展

十五日（木）　前期選択科目履修申請

十六日（金）　〃

十七日（土）　音楽祭

十八日（日）　スポーツ大会

二十四日（土）　学術発表会

編集後記

長かった受験生活も終わって、ほっとしていたいところだろう。でもぼーっとしていると太ってしまうよ。五月病にならないためにも積極的に行動しよう。まだ始まったばかりの大学生活を最高のものにするために。

▼歯が痛いぞーーーー（一）

№村野風人間ロケット横っとびダンスをご覧になりたい方新聞会室まで。一回五百円で受け付けてます。（渡鳥）

☆被さしぶりにワープロを操っているので完が戻ってなくて感じもめ着茶になっちゃった。（小倉山）

◎プロストは戻ってきたは、追再試もなんとか通れたはでやっと安心。（副会長）

¥ふぁ～あ。もう四月か……私もそろそろ冬眠からさめなきゃ…（「元」会計）

§とりあえず二年生になれたことが私の幸せ（F市学生）

㈱新入生さんこんにちは！高野君と仲良くしてね（桜）

∞I君、コンパの幹事これからもがんばってね（元幹事）

$初めは順調だったけど、最後は大変だったねっ！（まるごとマロン）